

2011年6月研究会

日 時：2011年6月20日（月曜）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 6階会議室

講演者：後藤俊夫会員（日本経済大学経済学部渋谷キャンパス教授）

演 題：「ファミリービジネス論における事業承継」

司 会：河口充勇会員（東京女学館大学、本学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

講師プロフィール

後藤俊夫（ごとう としお）

1942年、東京都生まれ。1966年、東京大学経済学部卒業。同年、日本電気（株）（NEC）入社。1974年、ハーバード大学ビジネス・スクール修了（MBA）。1997年、NEC 技術スタッフ主席主幹就任。1999年、NEC 退社。静岡産業大学教授、光産業創成大学院教授を経て、2011年4月より現職。専門分野は経営戦略（企業の持続的成長）、ベンチャー経営。著書に『忘れ去られた経営の原点』（生産性出版、1999年）、『老舗企業の研究』（共著）（生産性出版、2000年）、『ベンチャー企業戦略への挑戦』（共著）（税務経理協会、2002年）、『三代、100年潰れない会社のルール 超長寿の秘訣はファミリービジネス』（プレジデント社、2009年）など多数。



事務局報告

本研究会は、事業承継学会と同志社大学 ITEC が共催する形で開催されました。

今回は、わが国におけるファミリービジネス研究の草分け的存在にして、この分野の国際動向に詳しい後藤俊夫会員（日本経済大学経済学部渋谷キャンパス教授）より、欧米を中心としたファミリービジネス論の系譜とそこにおける事業承継に関する議論の軌跡ならびにさらなる展開可能性についてご講演いただきました。講演では、ご自身の国内外における調査活動を通して得られた豊富なデータをもとに、ファミリー企業における承継対策のキーポイントが網羅的かつクリアに示されるとともに、「長寿性」をキーワードとした国際比較研究の可能性が示されました。

本研究会の出席者数は30名でした。